

展覧会紹介

郵政博物館が主催した展覧会

【企画展】

前島密没後100年記念「鴻爪痕—HISOKA MAEJIMA—」展

期間：2019年4月19日（金）～6月16日（日）

会場：郵政博物館（企画展示場）

概要：2019年に前島密の没後100年を迎えたことから、伝記『鴻爪痕』等をもとに「日本近代郵便の父」として知られる前島密の人生をたどる企画展を開催した。青年時代に砲術、機関学、英語等、自らが必要だと思う学問を貪欲に学んだ密は、明治維新後の新政府のもとで近代日本社会の基礎となる数々の業績を残していく。勉学に励み偉業を成し遂げた一人の青年の足跡について、当館収蔵資料やパネル展示等により紹介した。



【企画展】

夏休みファミリーイベント「猫のダヤンのなぞとき迷路」

期間：2019年6月29日（土）～9月23日（月・祝）

会場：郵政博物館（企画展示場、多目的スペース）

概要：1983年に絵本作家池田あきこ氏が描き下ろし、35年以上ものあいだ愛され続けている「猫のダヤン」のイベントを開催した。内容は、物語の中の迷路に隠された謎を解きながら進んでいくというエンターテインメントイベントで、期間中は作家サイン会等実施したり、ワークショップ等も行った。



【企画展】

秋期企画展「郵便屋さんの図像学」

期間：2019年10月12日（土）～12月25日（水）

会場：郵政博物館（企画展示場、多目的スペース）

概要：「郵便屋さん」とは何者か？郵便創業期から1970年代にわたる館蔵資料より、郵便集配員の描かれた錦絵・周知印刷物・省機関誌の表紙原画など約150点を展示し、図像の特徴や変遷を辿った展覧会。「1. 美しく駆け抜ける」「2. 厳しい職務と献身」「3.



届けられる笑顔と真心」「4. 『郵便屋さん』として生きる」の4章構成で、集配員の知られざる苦楽を多角的に紹介した。また、本年度デジタル化した映像資料の上映会ほか、郵便の歴史や仕事について理解を深めるプログラムを実施した。

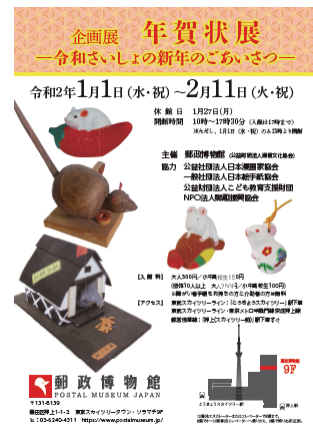
【企画展】

「年賀状展—令和さいしょの新年のごあいさつ—」

期間：2020年1月1日（水・祝）～2月11日（火・祝）

会場：郵政博物館（企画展示場、多目的スペース）

概要：ねずみ年の年賀切手、郷土玩具のほか、今まで発行されたお年玉付き年賀はがきや切手、賞品など、年賀に関わる資料を紹介するとともに、日本漫画家協会所属の漫画家の先生方の描きおろし子年の年賀状のほか、日本絵手紙協会による「みんなの絵手紙年賀状展2020」の展示をした。



【企画展】

「世界切手展」

第1部 スポーツ切手展

第2部 競争切手展スタンプボックスジャパン2020（中止）

第3部 from 1896 to 2016（規模縮小）

期間：2020年2月22日（土）～4月5日（日）

※新型コロナウイルス感染症予防のため3月1日から31日まで臨時休館（3月13日現在）。

会場：郵政博物館（企画展示場、多目的スペース）

概要：郵政博物館において圧倒的な展示数を誇るのは切手。

この展示では切手に焦点を当て、切手をメインとした。内容は全3部構成とし、それぞれ、切手コレクターによるスポーツ切手の作品展示、国際切手展準拠の国内展覧会、オリンピックに関する世界と日本の切手の展示をした。



郵政博物館が協力した展覧会

「改元記念 華ひらく皇室切手展」(於「世界切手まつり スタンプショウ2019」)

期間：2019年4月29日（月・祝）～5月1日（水・祝）

主催：公益財団法人日本郵趣協会

会場：東京都立産業貿易センター台東館

概要：記念切手「菊花紋章、有栖川宮熾仁親王」(1896年)の原版及び原版刷りほか、皇室に関係する切手資料10点について調査のうえ貸出し、公式ガイドブックの監修を行った。

「第69回 全日本切手展2019」

期間：2019年7月13日（土）～7月15日（月・祝）

主催：全日本切手展2019実行委員会、公益財団法人通信文化協会、一般社団法人全日本郵趣連合

会場：すみだ産業会館、郵政博物館（常設展示場）

概要：全国の切手収集家が、コレクションのテーマと完成度を競うコンクールで、1951年から毎年開催され、今回69回目を迎える。当館も田沢型切手応募作品のうち1等作品等を展示するとともに、参考資料として「田沢切手の源流を辿る」(『郵便史研究』

第46号、口絵カラー、郵便史研究会、2018年9月)を紹介した。

「第4回 全国折り句コンテスト」作品展～あなたの愛が日本を温かくする～

期間：2019年11月22日（金）～11月24日（日）

主催：一般社団法人 日本折り句協会

会場：郵政博物館（多目的スペース）

概要：2019年8月1日～9月30日まで全国で募集した折り句の入賞作品の展示と授賞式を行った。また、言葉を形にするワークショップと手紙にまつわるワークショップを連日開催した。

郵政博物館収蔵資料が展示された展覧会

電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム 常設展

期間：2019年4月1日（月）～2020年3月31日（火）

会場：電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム

概要：「火花式コイル送信機切替盤」「コヒーラ／デコヒーラ検波器」「シーメンスモールス受信機」を貸出。

南アルプス市ふるさと人物室第6回展示「遺一のこすー 功刀亀内」

期間：2019年4月13日（土）～9月16日（月・祝）

会場：南アルプス市立図書館

概要：「御役引人足帳」「従江戸甲府迄道中駄賃帳」「書状（年頭の挨拶状）」を貸出。

特別展「いきものだいすき！藪内正幸の動物画展」

期間：2019年4月20日（土）～6月16日（日）

会場：姫路文学館 北館

概要：記念切手「アホウドリ」（1975年）の原画（藪内正幸作）1件を貸出。

第123回企画展「下野の鎌倉街道一道を行き交う人と物」

期間：2019年4月27日（土）～6月16日（日）

会場：栃木県立博物館

概要：「分間延絵図（中山道・日光・奥州）」「足尾見取図」「関宿多項道見取図」「浦賀道見取図」「日光御山内見取図」等11件を貸出（図書資料10件、一般資料1件）。

開館5周年記念特別企画展「Telegraph 魔法の電信—きみは電信を知っているか?—」

期間：2019年9月11日（水）～2020年1月13日（月・祝）

会場：薩摩藩英国留学生記念館

概要：「ディニエ印字式電信機」「絹巻銅線」「伝信機之布告」「甲東大久保公書簡 庚」等31件を貸出（一般資料17件、図書資料13件 模型類1件）。

特別展「志太の戦国時代 戦国大名今川・武田・徳川の時代」

期間：2019年10月5日（土）～11月24日（日）

会場：藤枝市郷土博物館

概要：「丸子宿伝馬朱印状」「徳川家伝馬朱印状」を貸出。

「吉田鉄郎の近代—モダニズムと伝統の架け橋—」

期間：2019年11月1日（金）～2020年2月11日（火・祝）

会場：文化庁国立近現代建築資料館

概要：「大阪中央郵便局 矩計 其二」「大阪中央郵便局 立面図 東面」「大阪中央郵便局 模型」を貸出。

2019年度第4回テーマ展示「働く自転車展」

期間：2019年12月18日（水）～2020年3月15日（日）

会場：自転車文化センター

概要：「配達用自転車」を貸出。

埼玉県立文書館開館50周年&リニューアル記念企画展「鉄道の埼玉—明治から現代へ—」

期間：2020年1月14日（火）～3月8日（日）

会場：埼玉県立文書館

概要：「各線鉄道線路図」「武州鉄道株式会社之記録」を貸出。

第21回市川の文化人展「武荒信顕展あなたと・・・」

期間：2020年2月15日（土）～3月22日（日）

会場：市川市芳澤ガーデンギャラリー

概要：記念切手「第23回国際社会福祉会議記念」（1986年）など、武荒信顕が描いた切手・はがきの原画20件を貸出。